

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6(5)	認知症の人の個々の特性を把握・理解しながら、原因の解っていることに対しては職員が話し合い拘束をしないケアを目指してほしい。	トイレの場所がすぐに分かるような案内表示をする。 ホーム内は鍵をかけずに自由に歩いて頂く。 なるべく外に出て頂き、気分転換を図る。	トイレの場所が遠くからでも解る様に、案内表示の紙を貼った。 外に出る機会を設け気分転換を図れる様に回数を増やした。	0ヶ月
2	36(14)	トイレ誘導時の声掛けが大きく、利用者の置かれている状況が他の人にも解ってしまう。声のかけ方等、利用者本位の考え方で工夫してほしい。	トイレ案内の声掛けは声を小さくし相手に配慮する。	声のかけ方を工夫した。 口腔ケアのあとすぐに案内したりして大声で呼ぶことを減らす様に注意をしている。 掛け声が大きかったら注意し合い、改善に努めている。	0.5ヶ月
3	40(15)	食事のメニューを利用者の分かるように掲示してほしいまた、飲み物のメニューを作り使用者に選択してもらい飲みたいものを提供してほしいかがか。	食事メニューの掲示。 飲み物メニューを作り提供する。	1日の食事メニューの掲示をしました。 飲み物メニューには、絵を入れてわかりやすく表示し好みのものを選んで頂いている。	0.5ヶ月
4	45(17)	毎日準備はしているが、利用者の希望に添えない日もあるとホーム長は感じており、入浴日でない人にも声をかけて希望があれば支援してほしい。	いつでも入浴可能な張り紙だけでなく、声掛けを行う。	できるだけ声掛けを行うようにし、希望者にはなるべく支援を行う。	0.5ヶ月
5	49(18)	玄関が施錠され、日常的な外出の機会が少ないことで利用者の不穏状態に繋がることも考慮し、日頃から少しの時間でも陽や風にあたる環境をくふうしてほしい。	天気の良い日は外気浴や散歩、外でのお茶、ドライブ等を提供する。	外出の機会を増やしました。日光浴、外で軽い運動やお茶をしたり、ドライブなどで気分転換を図って頂いている	0ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。